



岡山県原水協通信

2015年9月10日 No352
原水爆禁止岡山県協議会
700-0981 岡山市北区西島田町4-25
TEL086-244-4526 (F)805-6172
kenmin@po5.oninet.ne.jp

「核兵器など絶対ダメ！」 9月度6・9 行動をしました

岡山県原水協は9月9日、9月度(第75回)6・9行動を岡山駅西口さんすて前でおこないました。この日の行動には県労会議、自治労連、医労連、高教組、生協労組、岡山市職労、人権連、新婦人の8団体と事務局から15人が参加しました。

平井事務局長は「8月の原水爆禁止世界大会には海外21か国147人と国内1万2千人の代表が参加し、核兵器のない世界を実現する決意を固めました」「世界は今、核兵器の非人道性に注目、人類と核兵器は共存できないと核兵器禁止条約の必要性に焦点を当てた議論が進んでいます」と核兵器廃絶の運動の到達点を訴えました。

さらに「被爆70年のいま、再び戦争はしないと誓い、憲法9条を持つ国として出発した日本が再び戦争する国になろうとしていることは絶対に許せません。平均年齢80歳を超えた被爆者は『再び被爆者を作るな。ヒロシマ・ナガサキをくりかえすな、自分たちの命のあるうちに核兵器廃絶を』と傷ついた心と身体で訴え続けています。世界で唯一の戦争被爆国の日本が核兵器廃絶の国際的イニシアチブを発揮するよう政府に突きつけましょう」と呼びかけました。

宣伝行動の準備が始まると同時に中学生の2人連れがポスターを熱心に眺め「署名させてください」と署名していきました。「核兵器など絶対ダメ!」と署名していく青年もあり、関心の高さを表していました。

昼休みの短時間の行動でしたが31人から署名が寄せられました。



岡山「被爆2世・3世の会」結成へ

10月24日(土) PM1:00- おかやま西川原プラザ
記念講演・安斎育郎氏(立命館大学名誉教授)

被爆70年の今年、被爆者の平均年齢は80歳を超えました。被爆者の思いを継承し、核兵器のない世界を被爆者とともに運動していくことは緊急の課題です。このたび岡山「被爆2世・3世の会」の結成に向けて準備が始まりました。「会」の結成を呼びかけたのは今年県原水協の代表団の一員として5月のNPT・ニューヨーク行動に参加した被爆2世の加百智津子さんと志賀雅子さんです。「高齢の被爆者を支え、核兵器のない世界を」の強い思いが2人を動かし、2世・3世の会を立ち上げようと準備を進めています。

これまでNHKをはじめ山陽、中国、読売、毎日新聞にも取り上げられ、マスコミの注目を集めています。2人の呼びかけに応え2世、3世の10人余が「結成呼びかけ人」に賛同し結成会に向けた準備を進めています。

岡山県原水協は岡山「会」結成を歓迎し、全面的協力と支援を確認しました。会の立ち上げに必要な資金を皆さんの募金で支えることとし、募金の訴えをしています。

